

地方支部長が抱負を語る

中・四国地方支部長

除補 修

▽▲▽▲ 座右の銘

時務^{じむ}を識^しるは俊傑^{しゅんけつ}に在り

▲▽▲▽

**洋上で新年を迎えられた組合員の皆さま、そして組合員のご家族の皆さま、
新年おめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。**

さて、中・四国地方支部管内ですが、広島市を拠点とする中・四国地方支部と、尾道支部、愛媛支部、高松支部の4つの支部で、執行部と職場委員が一丸となって組合活動を展開しています。今年もさらなる活動を展開していく所存です。

中・四国地方支部の今年の活動を振り返りますと年間の主要活動としては、全国一般定期旅客船の指針となる中・四国旅客船集団交渉加盟会社との労働協約改定交渉をはじめ、担当各社との労働協約改定交渉および年間臨時手当交渉に取り組むとともに、各社の懸案事項における労務委員会や政策課題への取り組み、また、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった中国地区内航海運懇談会・中国地区旅客船労使懇談会などがあります。コロナ禍で FOC・POC キャンペーンや主に目標船を重点に置いた未組織オルグ活動なども、難しい状況が続きましたが、今後もコロナ禍の状況を勘案しながら、本・支部連携のもと、職場委員と現場組合員と共に取り組みたいと思います。

また、海員組合の奨学金制度に関し、関係教育機関への訪問や説明時、学校関係者や船員を目指す若い人たちに、船員職業の魅力を伝えコミュニケーションを図っています。

昨年の労働協約改定交渉、ならびに年間臨時手当交渉は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、燃料油の高騰から、厳しい交渉となりましたが、期限内自主解決を目指し、賃金制度の維持・向上を求め、職場委員、船内委員長、現場代表ならびに組合員との十分な意見交換を行い、粘り強く鋭意交渉を行った結果、労働協約改定交渉ではベースアップを含む諸手当の改善を実施しました。今年も活動にまい進したいと思います。

「海員だより」